

【ふりかえり会議対象事業名】 熊野古道協働プロジェクト
 【事業担当セクション名】 地域振興部東紀州活性化・地域特定P
 【ふりかえり会議実施日時】 平成17年3月18日 午後2時～午後4時
 【ふりかえり会議実施場所】 尾鷲市栄町5-33

記入者名	森政之	小石原剛
所属	地域振興部東紀州活性化・地域特定P	特定非営利活動法人 ミーツ
中間期		
I 協働の前提		
1. 地域の将来像と事業とのマッチング	はい	はい
<ビジョン>	モデル的実践活動による魅力的なまちづくりのためのノウハウ伝授及び人材育成。スケジュール的にはイメージしていたものより遅れ気味だが概ね計画通り。	熊野古道を活かしたまちづくりを進めるため、必要なノウハウのストックと人材育成を進める。
2. 協働の形態	はい	はい
<現在の協働の形態>	委託	委託事業
3. 対等な関係	はい	はい
3-①役割と責任		
3-②コミュニケーションと合意形成	はい	はい
3-③意思決定と指示系統	はい	はい
I 協働の前提で「はい」と答えた数	5	5
II 事業		
1. 事業の目的	はい	はい
<事業の目的>	熊野古道の来訪者を街中へ招き入れるための魅力的なまちづくりのモデル的実践活動及び人材育成。	熊野古道を活かしたまちづくりの拠点づくりと運営ノウハウの習得。 魅力的なまち暮らしのためのコンテンツを見出す。
2. 事業の成果	はい	?
<事業の成果目標>	モデル事業としては、目標達成。このモデル事業をきっかけとして、地域資源の掘り起こし、ニーズの把握、実現へのサポートを以下に充実させ、地元で広げ、定着させられるかが今後の課題。	ワークショップ形式による市民の自発を促すプロジェクトであり、事業の成果は具体化せずゴールフリーにすることが重要。参加者各自のゴールが設定できてこそ意味のある事業になる。
3. 成果の帰属	?	はい
<具体的成果(物)>	カフェ・クリーム・ノウハウ	地域でのまちづくりに必要な人材
<帰属>	今回の事業の趣旨を引き継いで、自立的に運営してくれる人に引き継いでもらう。	市民
4. 事業の完了時期	はい	はい
5. 事業後の展望	はい	はい
<事業後の展望・方向性>	費用をかけずに古い空き店舗を改装する手法、イベントや情報発信手法、仲間づくりの手法を作興に、今後、地域に広め定着させていくことが課題。(あきらめ感→希望。非日常空間)	まちづくりへの市民の自発的な参加。ノウハウをもった人材の育成。新たなコミュニティの形成。
II 事業で「はい」と答えた数	4	4
III 事業実施体制		
1. 業務分担	はい	はい
2. 費用分担	はい	はい
3. 情報共有	はい	はい
4. 問題発生時の体制	はい	はい
5. スケジュール管理と進捗確認	?	はい
III 事業実施体制で「はい」と答えた数	4	5
中間期で「はい」と答えた数の合計	13	14

事業概要

平成17年3月10日記入

基本事業名
世界遺産（熊野古道）対策推進事業
ふりかえり会議対象事業名
熊野古道協働プロジェクト事業
担当部署名
地域振興部東紀州活性化・地域特定プロジェクト
担当者名及び連絡先：電話番号（市外局番からお願いします）
森 政之（059-224-2193）
予算額
3,400千円
NPOとの協働方法
委託
事業におけるNPOの果たす（期待する）役割
まちづくりの実践（モデル事業）及び人材育成
事業概要
尾鷲市駅前商店街の空き店舗を活用して、地元の人材や地元らしさを生かした「まちづくりカフェ」をオープンさせ、そこを中心に様々な仕掛けを行うことにより、地元の人たちの溜まり場、熊野古道の来訪者を街中へ招き入れるために魅力あるまちづくりを行う。 ① カフェプロジェクト ローコストなりノベーションの実験 イベント等による情報発信 ② 宿坊B&Bプロジェクト 尾鷲らしい昔ながらの住宅を生かした宿泊施設と運営システムと古道客が求めるホスピタリティの具体化 ③ ミニFM・ミニコミプロジェクト コミュニティと古道客を結ぶツール

この事業概要は、毎年提出された協働事業リストと同一の内容を記載しています。もし変更点等があれば記入してください。

2004(平成16)年度 当初予算 基本事業目的評価表

基本事業名	53403紀伊半島地域の活性化					
評価者	所属	地域振興部東紀州活性化・地域振興プロジェクトグループ	職名	推進監	氏名	南川正隆
	電話番号	059-224-2193	メール	chiiki@pref.mie.jp		
評価年月日	2004年2月3日					

政策・事業体系上の位置づけ	政策:	活力ある地域づくりの推進
	施策:	534過疎・離島・半島地域の振興
	施策の数値目標:	過疎地域人口の減少率全国比
基本事業の目的	【誰、何が(対象)】	
	紀伊半島地域が	
	【抱えている課題やニーズは】	
	紀伊半島地域は、海、山、溪谷等の美しい自然、豊かな農林水産資源を数多く有しながら、地理的、経済的、社会的条件に恵まれないため、社会基盤の整備が遅れ、雇用機会も少なく、人口が減少し、高齢化が進展しています。	
	という状態を	
	【どのような状態になることを狙っているのか(意図)】	
	地域資源、地域特性、情報通信基盤を生かして活性化している	
	という状態にします。	
その結果、どのような成果を実現したいのか(結果=施策の目的)		
過疎・離島・半島地域が自立して活力と魅力に富み、人と自然が共生している		

基本事業の数値目標、コスト、マネジメント参考指標

		2001	2002	2003	2004	2006
東紀州地域年間宿泊者数(万人) [目標指標]	目標		24	24	25	29
	実績	23	24	24		
必要概算コスト(千円)					1,367,841	0
予算額等(千円)					1,161,900	
概算人件費(千円)					205,941	0
所要時間(時間)					48,686	
人件費単価(千円/時間)		4.21	4.30	4.23	4.23	
必要概算コスト対前年度(千円)						-1,367,841
[マネジメント参考指標]						
[マネジメント参考指標]						
[マネジメント参考指標]						
[マネジメント参考指標]						

[マネジメント参考指標]

[マネジメント参考指標]

数値目標に関する説明・留意事項

2004年度 マネジメント参考指標

	種類	マネジメント参考指標	困難度
1			
2			
3			
4			
5			
6			

<参考>マネジメント参考指標の種類

事業量(必置)＝主要な活動に関する参考指標(アウトプットなど)

協働度(必置)＝対象者や他団体等との連携・協働に関する参考指標(意見反映件数等)

比較(任意)＝他団体等との比較に関する参考指標(全国順位など)

副次的(任意)＝間接的・副次的な効果や成果に関する参考指標(アウトカムなど)

2004年度 マネジメント参考指標に関する説明・留意事項

基本事業の評価

成果の達成見込み

概ね順調

これまでの取組内容と成果(見込み)、成果を得られた要因と考えられること

熊野古道の世界遺産登録を契機とする地域づくりに資するため、東紀州地域全体のセンターであり、さらには我が国における「紀伊山地の霊場と参詣道」の東のエントランス施設である熊野古道センター(仮称)の機能や運営手法について住民と協働で検討を行っています。また、熊野古道の保全・活用を総合的に実施していくため策定した熊野古道アクションプログラムの推進を図るため、市民公募によるプロジェクトパートナーと協働で「熊野古道ルール」など4つの重要テーマについて検討しています。

また、紀北地域における基幹産業である水産業や地域産業全体の振興に寄与するため、深層水事業実現に向けて、需要開拓のための暫定取水事業や利用研究を行っています。

紀南地域においては、地域の抱える課題に積極的に対処するために、紀南地域の振興策の実現に向けた取り組みを行い、特に紀南地域の集客交流を進めるための仕組みづくりとその定着を目的として、紀南振興プロデューサーを配置しています。

東紀州地域活性化事業推進協議会においては、熊野古道の世界遺産登録を期するため、市町村や県と協働してイベントを実施するとともに熊野古道の情報発信、東紀州活性化大学による人材育成、歴史・文化・自然に関する新たな魅力の発掘のためのみえ熊野学への取組みなどを実施しています。

翌年度以降に残る(見込みの)課題、その要因と考えられること

熊野古道の世界遺産登録の予定年次である2004年を迎え、熊野古道と言う地域最大の固有資源の保全と活用に努めて、地域のブランド化をはかっていくような地域づくりを行っていく必要があります。

特に、熊野古道の整備・活用などにより、集客数は増えつつありますが、さらに地元の経済効果を高めるためには、熊野古道から市街地への導入、宿坊など古民家を活用した宿泊施設の充実、地元の魅力的な食の提供、多彩な体験交流メニューの提供など総合的な取り組みを行い、滞在地としての魅力を提供する必要があります。

更には平成18年度にオープン予定の熊野古道センター(仮称)には、集客の仕掛けづくりが必要となります。紀南地域においては、平成14年度に設置した紀南プロデューサーの下、紀南プロデュースセンターの設置に向けた新たな取り組みが求められるとともに、中核的交流施設の整備に向けた具体的な取組が必要となります。

基本事業の展開

基本事業間の戦略での位置づけ

注力

総括マネージャーの方針・指示

↑ 熊野古道が世界遺産に登録される年度であり、これを機に東紀州地域の活性化に精力的に取り組むこと

2004年度 施策から見たこの基本事業の取組方向

<参考>注力:取組への思い入れや経営資源投入など施策の中での力の入れ具合
 ↑=相対的に力を入れて取り組んでいく
 →=従来どおりの力の入れ具合で取り組んでいく
 ↓=相対的に力の入れ具合を抑えていく

2004年度の取組方向

熊野古道の世界遺産登録を契機として東紀州地域の活性化に取り組めます。
 熊野古道の保全と活用のために策定した「熊野古道アクションプログラム」に基づき、地域住民、事業者、行政が協働して様々な地域づくりを進めます。
 世界遺産登録に併せて、世界遺産登録記念事業を和歌山・奈良両県と共同して実施するとともに、市町村のイベント開催を支援していきます。また、トイレ・サインなど来訪者の増加に対する受入体制を整備するとともに、道の駅等を活用して様々な情報提供を行っていきます。
 熊野古道への来訪者の東紀州地域全体の面的拡がりを進めるため、熊野古道センター(仮称)の整備を行うとともに、「紀南地域の振興策」に基づき、中核的集客機能の整備など集客交流の取り組みを進めます。
 また、地域の基幹産業である水産業の振興や地場産品の付加価値化等ブランド化を進めるため、海洋深層水事業への取り組みを進めます。

総合行政の視点からの取組

2004年度 構成する事務事業間の戦略(注力) (要求額:千円、所要時間:時間)

事務事業名	要求額	対前年	所要時間	対前年	注力	貢献度合	効果発現時期
	事業概要				マネージャーの方針・指示		
A 東紀州地域活性化推進費	33,986	-2,949	4,160	1,360	→	間接的	中期的
	東紀州地域の活性化を図るため、県及び市町村で組織する東紀州地域活性化事業推進協議会により、熊野古道の情報発信、みえ熊野学の取組、人材育成事業などのソフト事業を実施します。				熊野古道の世界遺産登録を迎え、これまで同協議会が培ってきたノウハウを生かした取り組みを行っていきます。		
B 熊野古道センター(仮称)整備事業	617,049	556,034	5,000	2,000	→	直接的	即効的
	世界遺産登録をめざしている「熊野古道」の魅力を全国に発信し、併せてその保全・活用を図るとともに、東紀州への集客交流のための情報拠点等としての熊野古道センター(仮称)を整備します。				東紀州全体のセンターとしての集客等の仕掛けづくりを住民と協働で取り組みます。		
C 紀南集客交流推進事業	18,180	-11,891	8,750	2,000	↑	直接的	即効的
	紀南地域活性化検討委員会から提言された「紀南地域の振興策」を基本にして、熊野古道を中心とした地域資源の有効活用を図りながら、紀南振興プロジェクトや体験交流等の事業に取組み、集客交流の基盤整備や体制づくりを進めます。				地域資源の活用を基軸としてスローライフの考え方に即した取り組みを進めます。		
D 中核的交流施設整備事業	60,954	-	5,000	-	↑	直接的	即効的
	「紀南地域の振興策」提言に基づき、集客交流の推進に向け、中核となる交流施設の整備のため、基本構想の策定等に着手します。				紀南地域の振興策を尊重しながら、きっちりとしたコンセプトにより整備に取り組みます。		
E 世界遺産(熊野古道)対策推進事業	128,032	72,505	6,240	0	↑	直接的	即効的
	世界遺産登録をめざす熊野古道の保全と活用のため、熊野古道アクションプログラムの着実な推進を図り、熊野古道協働プロジェクト、世界遺産登録記念事業、来訪者のための基盤整備などに取組みます。				熊野古道の世界遺産登録を契機とした地域づくりに取り組みます。		
F 海洋深層水施設整備支援事業	277,096	250,469	1,900	-1,760	↑	間接的	即効的
	新たな地域資源として注目を浴びている「海洋深層水」を利用した地場産業のブランド化に向けて、尾鷲市が整備する「尾鷲海洋深層水事業(取水施設等整備)」に対し、県が支援します。				企業等の販路拡大に努めます。		
G 半島振興関係負担金	80	-62	416	-416	↓	考慮外	長期的
	半島地域の課題に対処するため、半島地域を有する道府県と連携を図ります。				半島振興法の期間延長の状況を勘案のうえ、今後の対応について、検討を進めます。		
	800	-800	320	-700	→	直接的	即効的
	東紀州地域を安心して楽しめるダイビングエリアと						

H 東紀州の海・ダイビング魅力アップ作戦展開事業費	してレベルアップさせるために今後の民間主体の取り組みに活かせる基盤となる、一目でわかる海底マップの作成、ダイビング雑誌への共同での広告掲載、気軽に水中体験できるシュノーケリングスポットの案内パンフレットの作成、地域住民やNPOなどと協働してのクリーンアップ活動などを行うとともに、民間主導の組織への移行についての自立支援を行う。									東紀州の多様性のある海を活かした集客事業として、民間主体の自立したものとすること。
I 体験の達人育成支援事業	熊野古道の語り部や体験メニューの先生といった観光に携わる重要な人材のレベルアップにかかる研修等や新たな人材の育成のためのツールとなる「体験達人の教科書」や「語り部の教科書」の作成について支援を行う。	800	-511	1,350	0	→	直接的			即効的
J 熊野古道ゲートウェイ集客交流構築事業費	熊野古道世界遺産登録を契機に、この地域を熊野古道の入り口「熊野古道ゲートウェイ」として、古道を核とした地域全体の資源を有効に活用できるシステムを確立し、現在行政主導である集客交流（観光産業）が速やかに民間主体へ移行できる状況を促進することを目的に、下記の3つの事業を行います。(1) 地域全体の「集客交流」計画を策定(県)(2) ネットワーク体制を整備(市町)(3) 全体をコーディネートすること機関を設置(県・市町)	3,733	-	1,900	-	→	間接的			中期的
K 熊野古道CS調査事業費	熊野古道に来られた方1,000名にアンケートを行い、ニーズ・不満等のCS調査を行う。	2,000	-	200	-	→	間接的			中期的
L 「尾鷲ヒノキ」で熊野古道関連製品をつくらう！事業	熊野古道関連整備を尾鷲ヒノキを活用して行うため、地域の行政、森林組合、木材関係団体等が連携・協働して、尾鷲ヒノキの製品を考案し、もって熊野古道センターや古道周辺整備を行い、併せて地域活性化の方向付けをする。	780	-	1,050	-	→	直接的			即効的
M 紀南地域活性化推進事業費	紀南地域の活性化に向け、関係市町村、地域内の各種組織・団体、地域住民等と連携し、地域の抱える課題に積極的に対処し、地域資源の活用手法など種々の検討を行うとともに、創意工夫のもとに新たな地域づくりを進めていく。	5,535	1,643	4,200	-1,500	→	直接的			即効的
N 紀南地域熊野古道活用推進事業	紀南地域世界遺産活用推進実行委員会の活動を継続し、世界遺産本登録に向けた対策を検討・実施するとともに、アクションプログラムの基本方向に沿った事業の洗い出しをし、市町村と協働して行う。	7,027	-89	1,200	300	→	間接的			中期的
O 園芸福祉推進事業	園芸福祉を普及推進するためには、その活動をコーディネートするような高度な専門的技術者を養成する必要があり、専門技術者養成研修を受講させます。また、その専門技術者等を活用し、紀南地域を始め、県内各地域で園芸福祉を普及するための取組を実施します。	1,723	-524	3,200	-600	→	間接的			即効的
P 紀南地域園芸福祉実践支援事業	紀南地域で園芸福祉の定着を図るため、人材育成、活動環境整備、プログラムづくり、普及啓発活動を総合的に実施する。	4,125	3,130	3,800	1,900	→	直接的			中期的
Q 紀伊半島広域連携推進費	組織・連携体制の見直しを図るため、一部事務を除き、新規事業を休止する。	0	-3,000	0	-3,000	↓	考慮外			長期的
										三県体制について、他の協議会等との役割分担を整理します。

<参考> 貢献度合:

直接的=基本事業の目的達成などに直接関連・影響する

間接的=基本事業の目的達成などへの関連・影響の度合が副次的で、相対的に低い

考慮外=基本事業の成果への関連・影響の度合が副次的で、相対的に低い

<参考> 効果発現時期:

即効性=基本事業の目的達成などに2年以下で効果を出す

中期的=基本事業の目的達成などに概ね3年～5年で効果を出す

長期的=基本事業の目的達成などに概ね6年以上で効果を出す

休廃止する事務事業	事務事業名	理由	2003年度予算額(千円)	2003年度所要時間(時間)
	熊野古道世界遺産登録イベント事業費	事業完了。	4,331	1,400
	地産地消モデル地域「紀南ゆうきの里」推進事業	事業完了。	4,573	4,700
	紀南園芸福祉推進プラン策定事業費	事業完了。	4,010	1,900

概要
FAQ

はじめに

「たのしいこと・おもしろいことが、もっとたくさんあればいいなあ。」

ミーツの発想はごく単純な欲求からはじまりました。
 じぶんたちが何気なく生活する街、その街もよくよく眺めてみると、
 実はいろんなユニークなヒトがいて、素敵なショップもたくさんあって、
 気持ちの良い空間もそこかしこにあるのです。

私たちはもっと街に出かけ、さまざまなヒトやデキゴトに出会うことで、
 心はずむ体験を重ねられるはずです。
 豊かな街の魅力は、こうした個人的な体験の集積によって
 醸し出されるものではないでしょうか。

ミーツは、アートを媒介にさまざまな「ヒト」が出会い、
 たのしい「コト」に出会うための環境づくりをおこなっていきます。

ミーツの目的

地域の市民が自主的に参加・創造する、芸術・文化的活動を、
 より豊かなものにしていくことが、ミーツの目的です。

ミーツの活動

「育てる」・「つなぐ」・「場をつくる」の、3つの活動領域があります。

育てる
ワークショップ、シンポジウム、研究会、講座
○表現や創造のための環境を育てる、 ○芸術文化への興味関心をより深いものに育てる。

つなぐ
コーディネート、コンサルティング、プロデュース
○人と人、人と場所、人とモノ・コトをつなぎ、その媒介の役割を担う。

場をつくる
コミュニケーションの場としてのアート・プロジェクト
○コミュニケーションの場をつくり、ネットワークの機会をつくる。

ひとりひとりがその自発的な活動を通して、
楽しく自己実現をはかることができ、
なおかつそれらの成果が、社会にとって有益なものをもたらし、
市民社会が豊かに成長していく。
それが、ミーツにとっての成功です。

サービス・プログラムと主な活動実績

アート・デリバリー事業

・イベント、ワークショップ、シンポジウム、各種講座の企画運営
・告知広報ツールの、コンテンツ企画・制作(印刷物、ウェブサイト)



□アートマネジメント実践道場

トヨタ自動車株式会社との共催による、人材育成プログラム事業。アーティストを支え多くの人たちへと作品を結びつける役割の、「アートマネージャー」養成講座。共通講座の直島合宿スクーリングを経て、美術・映像・音楽の3コースに分かれる。座学だけでなく、それぞれのコースで実際のイベントを実施。



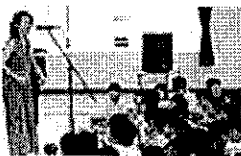
□備前市ワークショップ

備前市の観光開発プロジェクト、「小さな世界都市創造プログラム」よりの委託事業。株式会社ウエスコ(建設コンサルタント)とのジョイント・ワーク。現代美術家の藤浩志による子ども向けワークショップ「かえっこタウン」、地域の大人対象の街づくりプラン策定ワークショップ「備前かえる計画」を実施。



□NPOボランティア啓発パンフレット

岡山県のNPO・ボランティア啓発についてのパンフレット企画制作の委託を受け実施。



□RINGLINKSワークショップ&ライブ

岡山市御野小学校での正課の音楽の時間を利用した、音楽ワークショップ。同校卒業の宮武望がボーカルをつとめる「RING LINKS」が講師。学校で習った曲を全く違ったアレンジで演奏したり、楽しいコミュニケーションが生まれた。

研究・調査・提言活動

- ・まちづくり勉強会開催
- ・政策・法律に関する調査・研究・提言活動



□文化芸術振興基本法シンポジウム

平成13年12月7日の文化芸術振興基本法施行を受け、文化芸術振興基本法を読む(小暮宣雄)／文化芸術振興基本法を考える(秋元雄二、加藤種男、熊倉純子、宮島達男)／文化芸術振興基本法を拓く(小林真理)の3つのシンポジウム・勉強会を開催。ミーツが事務局として実行委員会方式で開催。

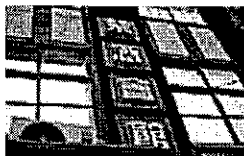
コンサルティング

- ・市街地活性化に関するアート・コンサルティング(店舗・施設プランニング)



□マルゴ・デリ プロジェクト

県庁通りトランジットモール実験に端を発した、カフェ開発プロジェクト。新規出店を計画していたカフェオーナーと、空き店舗の有効活用を模索していた地権者(丸五ゴム工業株式会社)を結びつけ、テイクアウトスタイルのカフェをプロデュース。



□禁酒会館プロジェクト

ミーツの事務所入居を契機として、歴史的建造物の価値の再発見・保存・再生の試みがスタートする。禁酒会館内でのカフェ・勉強会開催、ワークショップ形式での掃除・実測・プランニング活動を経て、市民をそのプロセスにまきこみ、中庭改装、カフェオープンなどのリニューアルが動いていった。

コミュニティ・プレイスづくり

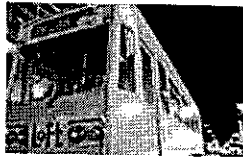
- ・アートカフェ運営



□ミーツカフェ

一日限定のカフェを、市街中心部で定期的で開催。8mm映像カフェ・ドロイングカフェ・おもちゃカフェなど、アートとエンターテインメントをテーマにしたカフェの場において、新しい出会いとコミュニケーションとネットワークが生まれる。

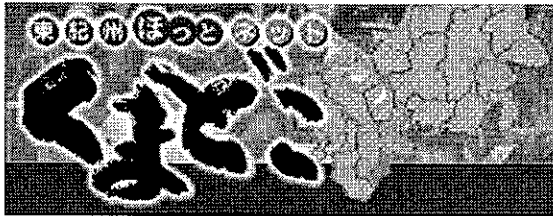
□電車倶楽部



RACDA(路面電車と都市の未来を考える会)・岡山電気軌道株式会社からの路面電車を使ってのアート・イベント企画オファーにはじまるプロジェクト。DJ機材を路面電車に持ち込み、移動クラブにする企画。現在パート4まで開催。

▲ページの先頭

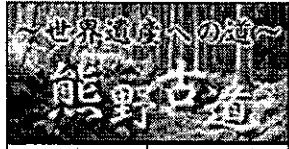
1999-2004 NPO meats.



サイト内検索

検索

ホーム | サイトマップ | 初めての方へ



日本語 English



ホーム >> 新着情報 >> 「ミーツ尾鷲プロジェクト」まもなく始動！～5月29日と30日にオフィスのお披露目・まちづくり活動の説明会

新着情報

「ミーツ尾鷲プロジェクト」まもなく始動！～5月29日と30日にオフィスのお披露目・まちづくり活動の説明会 (2004/05/27) [詳細](#) [イベント](#) [お知らせ](#)

地域住民と県が協働ですすめている「熊野古道協働プロジェクト推進事業」においてこのたびまちづくりの支援活動に実績のあるNPO法人ミーツ(岡山市)の助力を得て尾鷲市栄町の空き店舗を拠点として、まちづくり活動を展開します。

5月29日と30日にはオフィスのお披露目と、まちづくり活動の説明会による仲間づくりを行います。

～OWASEミーツオフィスお披露目と、まちづくり活動説明会～



OWASEミーツオフィス

- 日 時
平成16年5月29日(土)17:00～24:00
30日(日)13:00～24:00

- 場所
OWASEミーツオフィス(尾鷲市栄町5-33 通称:今町通り商店街)【[地図](#)】

◆以下、記者発表記事から

熊野古道アクションプログラムを住民と協働して実践していくために、昨年に引き続き熊野古道アクションプログラムを実施します。

昨年度は、4つのプロジェクト(世界遺産記念事業、熊野古道宿坊、熊野古道ルール、熊野古道センター)を住民と協働して実施してきましたが、今年度は、統一テーマを「まちづくり」とし、熊野古道宿坊(継続)や古道客をまちなかに引き入れる仕組みづくりを行っていきます。

プロジェクトの進行にあたっては、まちづくりの支援活動に実績のあるNPO法人ミーツ(岡山市)の助力を得て、ワークショップや実践活動の支援などを行い、それらの活動を通じてまちづくり活動を自主的に実践していく人材の養成もあわせて行っていきます。

今年度は、尾鷲市栄町(通称:今町通り商店街)の空き店舗を活動の拠点とし、様々なプロジェクトを実践していきます。その準備段階として下記のとおりミーツオフィスのプレオープンを行います。

- 記
1. 日 時 平成16年5月29日(土)17:00～24:00
30日(日)13:00～24:00
 2. 場 所 OWASEミーツオフィス(尾鷲市栄町5-33 通称:今町通り商店街)
 3. 目 的 ミーツオフィスのお披露目と、今後予定しているプロジェクトの説明会による仲間づくり。

今後展開するプロジェクト

1. 古民家宿坊プロジェクト
2. カフェプロジェクト
3. ラジオプロジェクト
4. ミニコミプロジェクト ※各プロジェクトは7月から本格稼働する予定です。

4. 参加者 どなたでも参加可

東紀州何でも辞典

- ▶ 熊野古道
- ▶ 観光情報
- ▶ イベントカレンダー
- ▶ 東紀州百科事典
- ▶ 店舗・施設情報
- ▶ くまどホームページ
- ▶ コラム

くまどどこにも集まるらい!

- ▶ 仲間づくり
- ▶ くまど掲示板
- ▶ クチコミ情報

くまどどこ自慢の逸品

- ▶ ショッピングモール

暮らしのお役立ち

- ▶ 暮らしの情報
- ▶ 防災情報
- ▶ 東紀州のお天気
- ▶ リンク集

くまどどこで頑張るらい!

- ▶ ホームページをつくろう!
- ▶ フィールドレポート

地域別ページ

- 紀伊長島町 御浜町
- 海山町 紀宝町
- 尾鷲市 紀和町
- 熊野市 鵜殿村

- ▶ くまど会員登録
- ▶ 東紀州
達人ライター募集
- ▶ オリジナルグッズ
- ▶ 特集
- ▶ リンクバナー

メールマガジン
イベントなどの情報を
いち早くお届け!
[会員登録へ](#)



当サイトはどなたでもご自由にリンクしていただいて結構です。よろしければ上のバナーをお使いください。

5. 参加費用 飲み物代等実費

6. 問い合わせ先 三重県地域振興部東紀州活性化・地域特定プロジェクト
電話 059-224-219

[▶ バックナンバー](#)

[個人情報の取り扱いに関して | サイトご利用上の注意](#)

特定非営利活動法人 東紀州ITコミュニティ

三重県北牟婁郡紀伊長島町東長島416番地の23

E-mail: info@kumadoco.net

Copyright(C)2004 KUMADOCO.NET All Rights Reserved.

お知らせ・募集

●お知らせ

- ▼イベントのお知らせ
- ▼カフェCReAMを貸し出します
- ▼レンタル尾鷲暮らし

●募集

- ▼プロジェクト参加者募集
- ▼譲ってください
- ▼イベント企画募集

●情報

- ▼CReAMの応援サイトができました

【イベントのお知らせ】

【ワースイーツ@CReAM lab. featuring cafe ScaLe158】

今回は“食”がテーマのイベントです。
三種類のスイーツと三種類の飲み物をコース風にお楽しみいただきます。
しかも映画上映のように各回時間制となり、完全予約、入れ替え制となります。

■コース内容

チーズとショコラのアラカルト×チャイ
フルーツのタルト×ジンジャーピーチティー
クレームブリュレとむらさきいものアイス×茉莉花茶

■日時 2月10日(木)

- 1回目 18時30分～19時30分
- 2回目 20時00分～21時00分
- 3回目 21時30分～22時30分

■場所 cafe CReAM

■料金 1,000円

※定員になり次第、予約終了となりますのでご了承下さい。

■予約・お問い合わせ

クリーム(0597-22-5350)もしくは
スケール(0597-22-5258)まで。

□ワースイーツとは

イベント形式で食事を提供し、一風変わった新しい料理の可能性を模索します。




フライヤー

▲PageTop

【カフェCReAMを貸し出します】


カフェクリームではさまざまなイベントにご利用いただくため、スペースレンタルサービスをはじめます。

詳細はこちら 

▲PageTop

【レンタル尾鷲暮らし】

熊野古道の旅人に、生活備品のそろったクリーム2階の和室で、つかの間の尾鷲暮らしを体験していただくサービスをはじめます。熊野古道の旅行者なら、1日単位からどなたでもご利用頂けます。

詳細はこちら 

▲PageTop

【プロジェクト参加者募集】

尾鷲プロジェクトの参加者を募集しています。自分のまちは自分達でおもしろく。な〜んかやりたいと思っているあなた。まずはお茶でも飲みに来てください。

○カフェづくり

CReAMの企画を一緒にやりませんか？

ちょっとオモシロイことしてみたい人ならOK。

○宿坊づくり

古道の宿を皆さんの手づくりで。

「レンタル尾鷲暮らし」旅人に尾鷲の暮らしを知ってもらいましょう。

○ミニコミづくり

街の良さはまちの人だけが知っている。

そんなフリーペーパーを作りましょう。

○ミニFMづくり

音楽好きの人は大歓迎。自作のCDやデモテープを電波に乗せよう。

CReAMでのライブイベントの企画にも。

▲PageTop

【譲ってください】

尾鷲CReAMプロジェクトでは、不要になった掃除機、冷蔵庫、パソコンなどの家電

製品を募集しています。ご協力頂ける方はクリームまでご連絡下さい。

[▲PageTop](#)

【イベント企画募集】

Cafe CReAMでは色々なイベント企画を募集中です。

- ・ライブ
- ・上映会
- ・展覧会
- ・レクチャー
- ・教室
- ・茶話会
- ・etc.

あなたのアイデアを活かせる空間です。

お気軽にスタッフまで、ご相談下さい。

[▲PageTop](#)

【CReAMの応援サイトができました】

Cafe CReAMのお客様海月さんが素敵なサイトを作ってくれました。

勝手なCafe_CReAM応援サイト

[▲PageTop](#)